

市長	副市長	副市長	部長	副部長	担当副部長	室長	担当室長	グループ長	参事	設計者	確認者
設 計 書											
会 計 年 度						積 算 番 号					
工 事 名		北大阪急行線延伸に伴う特殊街路部整備工事（第1工区）									
路 線 名		一般国道423号				設 計 部 課 名		地域創造部 鉄道延伸室			
施 工 場 所		箕面市 船場東三丁目から船場東一丁目 地内				施 工 期 間					
着 手 年 月 日		平成 28年 月 日				基 礎 単 価		平成28年04月			
完 成 年 月 日		平成 33年 3月 15日				共 通 単 価		平成28年04月			
						諸 経 費 率		国土交通省(H27)			

大 阪 府 箕 面 市 役 所

請負代金内訳明細書

種 別		(ア)工事 (仮称)箕面船場駅	(イ)工事 線路部	合 計
請 負 代 金 額				
内 訳	工 事 代 金 額			
	消 費 税 相 当 額			

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
準備工		式	1				A 01000
歩道切削		m ²	1,008			[昼]	A 01001
中央分離帯撤去		m ²	544			[昼]	A 01002
側道路肩撤去		m ²	339			[昼]	A 01003
標識類撤去	路側式単柱	本	5			[昼]	A 01004
標識類撤去	片持式支柱	本	19			[昼]	A 01005
標識類撤去	門型式支柱	基	2			[昼]	A 01006
防護柵撤去	ガードレール	m	228			[昼]	A 01007
擁壁撤去		m ³	832			[昼]	A 01008
運搬処分	鉄筋コンクリート塊	m ³	25			[昼]	A 01009
運搬処分	無筋コンクリート塊	m ³	990			[昼]	A 01010
布掘及び壺掘工		式	1				A 05000

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
布掘	鋼杭鋼支柱用 覆工設置 南側棲部	本	29			[昼]	A 05001
壺掘	鋼杭鋼支柱用 覆工設置 本線部	本	14			[昼]	A 05002
壺掘	鋼杭鋼支柱用 鉄板設置 固定占用部	本	528			[昼]	A 05003
運搬処分	布掘 アスファルト塊 南側棲部	本	29			[昼]	A 05004
運搬処分	壺掘 アスファルト塊 本線部	本	14			[昼]	A 05005
運搬処分	壺掘 アスファルト塊 固定占用部	本	528			[昼]	A 05006
鋼杭鋼支柱工		式	1				A 08000
さっ孔建て込み アースオーガ 土留め杭	H-400 L=30m未満	本	291			[昼]	A 08001
さっ孔建て込み ロックオーガ 土留め杭	H-400 L=30m以上	本	46			[昼]	A 08002
さっ孔建て込み アースオーガ 西側仮土留め杭	H-300 L=9m	本	88			[昼]	A 08003
さっ孔建て込み アースオーガ 東側中間杭	H-350 L=30m未満	本	70			[昼]	A 08004
さっ孔建て込み ロックオーガ 東側中間杭	H-350 L=30m以上	本	6			[昼]	A 08005

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
さつ孔建て込み アースオーガ 西側中間杭	H-350 L=30m未満	本	81			[昼]	A 08006
頭部切断	H-350×350×12×19	本	76			[昼]	A 08007
頭部切断	H-400×400×13×21	本	337			[昼]	A 08008
頭部撤去	H-350×350×12×19	本	76			[昼]	A 08009
頭部撤去	H-400×400×13×21	本	337			[昼]	A 08010
鋼支柱切断	H-350×350×12×19 構造物内	本	157			[昼]	A 08011
鋼支柱撤去	H-350×350×12×19	本	157			[昼]	A 08012
鋼支柱撤去	H-350×350×12×19 西側仮土留め杭	本	88			[昼]	A 08013
撤去材材料費	H-350×350×12×19	t	482.9				A 08014
撤去材材料費	H-400×400×13×21	t	106.9				A 08015
存置材材料費	H-350×350×12×19	t	133.4				A 08016
存置材材料費	H-400×400×13×21	t	1,401.3				A 08017

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
シールド発進用芯材		式	1				A 08018
継手材材料費	H-350 中間杭用	箇所	261				A 08019
継手材材料費	H-400 鋼杭用	箇所	609				A 08020
路面覆工		式	1				A 11000
覆工桁設置	H形鋼各種	t	268.3			[昼]	A 11001
桁受材設置	H形鋼及び溝形鋼各種	t	138.2			[昼]	A 11002
桁繫材及び 縦矢板止材設置	山形鋼各種	t	14.3			[昼]	A 11003
覆工桁撤去	H形鋼各種	t	268.3			[昼]	A 11004
桁受材撤去	H形鋼及び溝形鋼各種	t	138.2			[昼]	A 11005
桁繫材及び 縦矢板止材撤去	山形鋼各種	t	14.3			[昼]	A 11006
覆工桁材料費	H-300×300×10×15 L<6m	t	1.9				A 11007
覆工桁材料費	H-400×400×13×21 L≥6m	t	150.5				A 11008

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
覆工桁材料費	H-800×300×14×26 L<6m	t	5.7				A 11009
覆工桁材料費	H-800×300×14×26 L≥6m	t	110.1				A 11010
桁受材材料費	H-400×200×8×13 L≥6m	t	27.3				A 11011
桁受材材料費	H-700×300×13×24 L≥6m	t	76.1				A 11012
桁受材材料費	[-380×100×13×20	t	34.8				A 11013
桁繫材及び 縦矢板止材材料費	山形鋼各種	t	14.3				A 11014
舗板設置	舗板各種	m ²	4,129			[昼] 舗装スリ付含む	A 11015
取付舗装設置	車道部	m	267			[昼] 舗板止材設置含む	A 11016
舗板撤去	舗板各種	m ²	4,129			[昼] 舗装スリ付含む	A 11017
取付舗装撤去	車道部	m	267			[昼] 舗板止材撤去含む	A 11018
舗板材料費	舗板各種	m ²	4,129				A 11019
埋設物防護工		式	1				A 13000

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
つり桁設置	H形鋼各種	t	46.7			[昼]	A 13001
つり桁撤去	H形鋼各種	t	46.7			[昼]	A 13002
つり桁材料費	H-300×300×10×15 L≧6m	t	46.7				A 13003
掘削工		式	1				A 17000
上部掘削・積込	アスファルト	m³	549			[昼]	A 17001
上部掘削・積込	土砂	m³	17,610			[昼]	A 17002
下部掘削・積込	土砂	m³	68,840			[昼]	A 17003
掘削土砂運搬工		式	1				A 17500
運搬処分 上部掘削土	土砂	m³	17,610			[昼]	A 17501
運搬処分 下部掘削土	土砂	m³	68,840			[昼]	A 17502
運搬処分	アスファルト塊	m³	549			[昼]	A 17503
土留板工		式	1				A 20000

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
縦矢板設置・撤去	板厚4.5cm	m ²	277			[昼]	A 20001
横矢板設置	板厚各種	m ²	10,090			[昼]	A 20002
横矢板撤去	板厚各種	m ²	2,346			[昼]	A 20003
土留支保工		式	1				A 22000
支保工材設置		t	1,156.8			[昼]	A 22001
鋼支柱補強材及び 切梁繫材設置		t	247.2			[昼]	A 22002
裏込コンクリート 設置	土留め杭用	箇所	1,473			[昼]	A 22003
支保工材撤去		t	1,156.8			[昼]	A 22004
鋼支柱補強材及び 切梁繫材撤去		t	247.2			[昼]	A 22005
裏込コンクリート 撤去	土留め杭用	箇所	1,473			[昼] 無筋コンクリート塊運搬処分含む	A 22006
支保工材材料費		t	1,156.8				A 22007
鋼支柱補強材及び 切梁繫材材料費		t	247.2				A 22008

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
グラウンドアンカー工	仮設用 残置式	式	1				A 22009
グラウンドアンカー工	躯体用 除去式	式	1				A 22010
構造物内盛替工		式	1				A 22100
支保工材設置		t	1,029.2			[昼]	A 22101
鋼支柱補強材及び 切梁繫材設置		t	34.9			[昼]	A 22102
支保工材撤去		t	1,029.2			[昼]	A 22103
鋼支柱補強材及び 切梁繫材撤去		t	34.9			[昼]	A 22104
支保工材材料費		t	1,156.8				A 22105
鋼支柱補強材及び 切梁繫材材料費		t	34.9				A 22106
仮設備工		式	1				A 24000
坑内通路設備		式	1			作業通路、点検通路、仮設階段等	A 24001
電力設備		式	1				A 24002

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
用水設備		式	1				A 24003
足場工		式	1				A 24004
水替工		式	1				A 25000
釜場排水		式	1				A 25001
有孔排水管布設		式	1				A 25002
基礎工		式	1				A 28000
コンクリート打設	種別B	m ³	780			[昼]	A 28001
型枠		m ²	20			[昼]	A 28002
鉄筋工		式	1				A 29000
材料費	SD345 φ D13mm	t	394.0				A 29001
材料費	SD345 φ D16mm～φ D25mm	t	2,380.0				A 29002
材料費	SD345 φ D29mm～φ D32mm	t	566.0				A 29003

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
加工・組立		t	3,340.0			[昼]	A 29004
躯体コンクリート工		式	1			[昼]	A 30000
コンクリート打設	種別A1	m ³	18,810			[昼]	A 30001
コンクリート打設	種別A2	m ³	976			[昼]	A 30002
型枠	頂部・側部	m ²	26,200			[昼]	A 30003
型枠支保工	くさび結合支保	空m ³	52,000			[昼]	A 30004
斜路工	EPS	式	1			[昼]	A 30005
排水コンクリート工		式	1				A 33000
コンクリート打設	種別B	m ³	319			[昼]	A 33001
型枠		m ²	104			[昼]	A 33002
鋼管柱製作建込工		式	1				A 34000
材料・製作	タイプ1 φ450mm	本	4				A 34001

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
材料・製作	タイプ2 φ700mm	本	4				A 34002
材料・製作	タイプ3 φ600mm	本	12				A 34003
材料・製作	タイプ4 φ800mm	本	4				A 34004
材料・製作	タイプ5 φ800mm	本	3				A 34005
材料・製作	タイプ6 φ800mm	本	4				A 34006
建込・据付	各種	本	31			[昼] コンクリート充填含む	A 34007
防水工		式	1				A 36000
保護コンクリート 打設	種別B	m ³	357			[昼]	A 36001
保護コンクリート 型枠		m ²	27			[昼]	A 36002
モルタル防水	底部	m ²	3,833			[昼] 打継部ラップ含む	A 36003
シート防水	頂部	m ²	3,416			[昼] 打継部ラップ含む	A 36004
シート防水	先防水 側部	m ²	8,199			[昼] 打継部ラップ含む	A 36005

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
シート防水	後防水 側部	m ²	1,128			[昼] 打継部ラップ含む	A 36006
支柱切断跡防水		箇所	157			[昼] 構造物内切断跡ペイント仕上げ 含む	A 36007
定形シール	定形シール材A	m	287			[昼]	A 36008
定形シール	定形シール材C	m	279			[昼]	A 36009
埋戻工		式	1				A 40000
改良土埋戻	頂部	m ³	12,950			[昼]	A 40001
付帯工		式	1				A 79000
試掘		式	1				A 79001
舗板日々開閉		式	1				A 79002
防塵対策		式	1			散水、路面清掃、坑内清掃等	A 79003
直接工事費							

(ア)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
諸経費		式	1				A 99000
共通仮設費		式	1			運搬費、準備費、安全費 事業損失防止施設費、役務費 営繕費、技術管理費、イメージアップ等	A 99600
現場管理費		式	1				A 99700
一般管理費		式	1				A 99800
工事代金額							
消費税及び地方 消費税相当額							
(ア)工事計							

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
準備工		式	1				B 01000
歩道切削	国道部	m ²	1,243			[昼]	B 01001
歩道切削	市道部	m ²	162			[昼]	B 01002
中央分離帯撤去		m ²	238			[昼]	B 01003
側道路肩撤去		m ²	496			[昼]	B 01004
標識類撤去	路側式単柱	本	11			[昼]	B 01005
標識類撤去	片持式支柱	本	17			[昼]	B 01006
防護柵撤去	ガードレール	m	363			[昼]	B 01007
擁壁撤去		m ³	744			[昼]	B 01008
運搬処分	鉄筋コンクリート塊	m ³	473			[昼]	B 01009
運搬処分	無筋コンクリート塊	m ³	446			[昼]	B 01010
布掘及び壺掘工		式	1				B 05000

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
布掘	鋼矢板用 覆工設置 車道部	m	47			[夜]	B 05001
布掘	鋼矢板用 鉄板設置 固定占用部 II～IV型	m	3			[昼]	B 05002
布掘	鋼矢板用 鉄板設置 固定占用部 V型	m	18			[昼]	B 05003
壺掘	鋼杭鋼支柱用 覆工設置	本	56			[昼]	B 05004
壺掘	鋼杭鋼支柱用 覆工設置	本	21			[夜]	B 05005
壺掘	鋼杭鋼支柱用 鉄板設置	本	208			[昼]	B 05006
壺掘	鋼杭鋼支柱用 鉄板設置	本	63			[夜]	B 05007
布掘	ソイルセメント壁用 覆工設置 車道部	m	17			[夜]	B 05008
布掘	ソイルセメント壁用 覆工設置 固定占用部	m	164			[昼]	B 05009
布掘	ソイルセメント壁用 覆工設置 歩道部	m	142			[夜]	B 05010
運搬処分	布掘 車道部 アスファルト塊	m	47			[夜]	B 05011
運搬処分	布掘 固定占用部 アスファルト塊	m	21			[昼]	B 05012

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
運搬処分	壺掘 車道部 アスファルト塊	本	56			[昼]	B 05013
運搬処分	壺掘 車道部 アスファルト塊	本	21			[夜]	B 05014
運搬処分	壺掘 固定占用部 アスファルト塊	本	208			[昼]	B 05015
運搬処分	壺掘 歩道部 アスファルト塊	本	63			[夜]	B 05016
運搬処分	布掘 車道部 アスファルト塊	m	17			[夜]	B 05017
運搬処分	布掘 固定占用部 アスファルト塊	m	164			[昼]	B 05018
運搬処分	布掘 歩道 アスファルト塊	m	142			[夜]	B 05019
鋼矢板土留壁工		式	1				B 07000
油圧式パイプハンマ	Ⅲ型 圧入長 $6\text{m} < L \leq 9\text{m}$	枚	92			[昼]	B 07001
油圧式パイプハンマ	Ⅲ型 圧入長 $9\text{m} < L \leq 12\text{m}$	枚	8			[昼]	B 07002
油圧式パイプハンマ	Ⅳ型 圧入長 $9\text{m} < L \leq 12\text{m}$	枚	24			[昼]	B 07003
油圧式パイプハンマ	Ⅳ型 継手1箇所 圧入長 $9\text{m} < L \leq 12\text{m}$	枚	10			[昼]	B 07004

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
油圧式パイプロハナ	Ⅳ型 継手1箇所 圧入長12m<L≤15m	枚	23			[昼]	B 07005
油圧式パイプロハナ	Ⅳ型 継手1箇所 圧入長15m<L≤19m	枚	63			[夜]	B 07006
油圧式パイプロハナ	ⅤL型 継手1箇所 圧入長12m<L≤15m	枚	39			[夜]	B 07007
油圧式パイプロハナ	ⅥL型 継手1箇所 圧入長12m<L≤15m	枚	9			[夜]	B 07008
油圧式パイプロハナ	ⅥL型 継手1箇所 圧入長15m<L≤19m	枚	32			[夜]	B 07009
頭部切断	Ⅲ型	枚	100			[昼]	B 07010
頭部切断	Ⅳ型	枚	120			[昼]	B 07011
頭部切断	ⅤL型	枚	39			[昼]	B 07012
頭部切断	ⅥL型	枚	41			[昼]	B 07013
頭部撤去	Ⅲ型	枚	100			[昼]	B 07014
頭部撤去	Ⅳ型	枚	57			[昼]	B 07015
頭部撤去	Ⅳ型	枚	63			[夜]	B 07016

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
頭部撤去	VL型	枚	39			[夜]	B 07017
頭部撤去	VIL型	枚	41			[夜]	B 07018
撤去材材料費	Ⅲ型	t	18.0				B 07019
撤去材材料費	Ⅳ型	t	22.3				B 07020
撤去材材料費	VL型	t	7.9				B 07021
撤去材材料費	VIL型	t	9.5				B 07022
存置材材料費	Ⅲ型	t	32.6				B 07023
存置材材料費	Ⅳ型	t	118.7				B 07024
存置材材料費	VL型	t	51.5				B 07025
存置材材料費	VIL型	t	66.8				B 07026
鋼杭鋼支柱工		式	1				B 08000
さっ孔建て込み アースオーガ 土留め杭	H-400 L=30m未満	本	87			[昼]	B 08001

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
さっ孔建て込み アースオーガ 土留め杭	H-400 L=30m未満	本	14			[夜]	B 08002
さっ孔建て込み 大口径ホーリングマシン 土留め杭	H-350 L=30m未満	本	20			[昼]	B 08003
さっ孔建て込み アースオーガ 西側仮土留め杭	H-300 L=9m	本	25			[昼]	B 08004
さっ孔建て込み アースオーガ 東側中間杭	H-300 L=30m未満	本	45			[昼]	B 08005
さっ孔建て込み アースオーガ 東側中間杭	H-300 L=30m未満	本	62			[夜]	B 08006
さっ孔建て込み アースオーガ 西側中間杭	H-300 L=30m未満	本	79			[昼]	B 08007
さっ孔建て込み アースオーガ 西側中間杭	H-300 L=30m未満	本	7			[夜]	B 08008
頭部切断	H-300×300×10×15	本	14			[昼]	B 08009
頭部切断	H-350×350×12×19	本	64			[昼]	B 08010
頭部切断	H-400×400×13×21	本	57			[昼]	B 08011
頭部撤去	H-300×300×10×15	本	14			[昼]	B 08012
頭部撤去	H-350×350×12×19	本	64			[昼]	B 08013

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
頭部撤去	H-400×400×13×21	本	43			[昼]	B 08014
頭部撤去	H-400×400×13×21	本	14			[夜]	B 08015
鋼支柱切断	H-300×300×10×15 構造物内	本	193			[昼]	B 08016
鋼支柱撤去	H-300×300×10×15	本	124			[昼]	B 08017
鋼支柱撤去	H-300×300×10×15 市道部	本	62			[夜]	B 08018
鋼支柱撤去	H-300×300×10×15 国道部	本	7			[夜]	B 08019
鋼支柱撤去	H-300×300×10×15 西側仮土留め杭	本	25			[昼]	B 08020
撤去材材料費	H-300×300×10×15	t	257.2				B 08021
撤去材材料費	H-350×350×12×19	t	16.6				B 08022
撤去材材料費	H-400×400×13×21	t	18.5				B 08023
存置材材料費	H-300×300×10×15	t	97.5				B 08024
存置材材料費	H-350×350×12×19	t	159.6				B 08025

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
存置材材料費	H-400×400×13×21	t	198.5				B 08026
継手材材料費	H-300 中間杭用	箇所	198				B 08027
継手材材料費	H-350 中間杭用	箇所	64				B 08028
継手材材料費	H-400 鋼杭用	箇所	57				B 08029
ソイルセメント壁工		式	1				B 09000
造成 鋼杭建込継手1箇所	φ550mm 東側	m ²	3,375			[夜]	B 09001
造成 鋼杭建込継手1箇所	φ550mm 西側	m ²	2,794			[昼]	B 09002
頭部切断	H-350×175×7×11	本	481			[昼]	B 09003
頭部切断	H-400×200×8×13	本	230			[昼]	B 09004
頭部撤去	H-350×175×7×11	本	357			[昼]	B 09005
頭部撤去	H-350×175×7×11	本	124			[夜]	B 09006
頭部撤去	H-400×200×8×13	本	230			[夜]	B 09007

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
撤去材材料費	H-350×175×7×11	t	45.8				B 09008
撤去材材料費	H-400×200×8×13	t	28.8				B 09009
存置材材料費	H-350×175×7×11	t	399.4				B 09010
存置材材料費	H-400×200×8×13	t	295.8				B 09011
継手材材料費	H-350×175×7×11	箇所	505				B 09012
継手材材料費	H-400×200×8×13	箇所	230				B 09013
プラント設備設置・撤去		式	1			[昼]	B 09014
運搬処分	泥土	m ²	2,794			[昼]	B 09015
運搬処分	泥土	m ²	3,375			[夜]	B 09016
路面覆工		式	1				B 11000
覆工桁設置	H形鋼各種	t	170.0			[昼]	B 11001
覆工桁設置	H形鋼各種 市道部	t	38.3			[夜]	B 11002

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
覆工桁設置	H形鋼各種 国道部	t	19.2			[夜]	B 11003
桁受材設置	H形鋼及び溝形鋼各種	t	78.2			[昼]	B 11004
桁受材設置	H形鋼及び溝形鋼各種 市道部	t	20.9			[夜]	B 11005
桁受材設置	H形鋼及び溝形鋼各種 国道部	t	10.0			[夜]	B 11006
桁繫材及び 縦矢板止材設置	山形鋼各種	t	13.9			[昼]	B 11007
桁繫材及び 縦矢板止材設置	山形鋼各種 市道部	t	4.6			[夜]	B 11008
桁繫材及び 縦矢板止材設置	山形鋼各種 国道部	t	1.1			[夜]	B 11009
覆工桁撤去	H形鋼各種	t	170.0			[昼]	B 11010
覆工桁撤去	H形鋼各種 市道部	t	38.3			[夜]	B 11011
覆工桁撤去	H形鋼各種 国道部	t	19.2			[夜]	B 11012
桁受材撤去	H形鋼及び溝形鋼各種	t	78.2			[昼]	B 11013
桁受材撤去	H形鋼及び溝形鋼各種 市道部	t	20.9			[夜]	B 11014

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
桁受材撤去	H形鋼及び溝形鋼各種 国道部	t	10.0			[夜]	B 11015
桁繫材及び 縦矢板止材撤去	山形鋼各種	t	13.9			[昼]	B 11016
桁繫材及び 縦矢板止材撤去	山形鋼各種 市道部	t	4.6			[夜]	B 11017
桁繫材及び 縦矢板止材撤去	山形鋼各種 国道部	t	1.1			[夜]	B 11018
覆工桁材料費	H-300×300×10×15 L<6m	t	2.6				B 11019
覆工桁材料費	H-350×350×12×19 L<6m	t	90.3				B 11020
覆工桁材料費	H-350×350×12×19 L≥6m	t	0.8				B 11021
覆工桁材料費	H-400×400×13×21 L<6m	t	91.5				B 11022
覆工桁材料費	H-400×400×13×21 L≥6m	t	42.3				B 11023
桁受材材料費	H-300×300×10×15 L≥6m	t	3.5				B 11024
桁受材材料費	[-380×100×13×20	t	105.6				B 11025
桁繫材及び 縦矢板止材材料費	山形鋼各種	t	19.7				B 11026

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
舗板設置	舗板各種	m ²	2,738			[昼] 舗装スリ付含む	B 11027
舗板設置	舗板各種 市道部	m ²	777			[夜] 舗装スリ付含む	B 11028
舗板設置	舗板各種 国道部	m ²	314			[夜] 舗装スリ付含む	B 11029
取付舗装設置	車道部	m	390			[昼] 舗板止材設置含む	B 11030
取付舗装設置	車道部 市道部	m	155			[夜] 舗板止材設置含む	B 11031
取付舗装設置	車道部 国道部	m	19			[夜] 舗板止材設置含む	B 11032
舗板撤去	舗板各種	m ²	2,738			[昼] 舗装スリ付含む	B 11033
舗板撤去	舗板各種 市道部	m ²	777			[夜] 舗装スリ付含む	B 11034
舗板撤去	舗板各種 国道部	m ²	314			[夜] 舗装スリ付含む	B 11035
取付舗装撤去	車道部	m	390			[昼] 舗板止材撤去含む	B 11036
取付舗装撤去	車道部 市道部	m	155			[夜] 舗板止材撤去含む	B 11037
取付舗装撤去	車道部 国道部	m	19			[夜] 舗板止材撤去含む	B 11038

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
舗板材料費	舗板各種	m ²	3,830				B 11039
埋設物防護工		式	1				B 13000
つり桁設置	H形鋼各種	t	37.1			[昼]	B 13001
つり桁設置	H形鋼各種	t	17.0			[夜]	B 13002
つり桁撤去	H形鋼各種	t	37.1			[昼]	B 13003
つり桁撤去	H形鋼各種	t	17.0			[夜]	B 13004
つり桁材料費	H-300×300×10×15 L<6m	t	43.5				B 13005
つり桁材料費	H-300×300×10×15 L≥6m	t	10.6				B 13006
掘削工		式	1				B 17000
上部掘削・積込	アスファルト	m ³	280			[昼]	B 17001
上部掘削・積込	アスファルト 市道部	m ³	216			[夜]	B 17002
上部掘削・積込	アスファルト 国道部	m ³	56			[夜]	B 17003

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
上部掘削・積込	土砂	m ³	21,350			[昼]	B 17004
上部掘削・積込	土砂 市道部	m ³	6,165			[夜]	B 17005
上部掘削・積込	土砂 国道部	m ³	1,251			[夜]	B 17006
下部掘削・積込	土砂	m ³	35,410			[昼]	B 17007
掘削土砂運搬工		式	1				B 17500
運搬処分 上部掘削土	土砂	m ³	21,350			[昼]	B 17501
運搬処分 上部掘削土	土砂 市道部	m ³	6,165			[夜]	B 17502
運搬処分 上部掘削土	土砂 国道部	m ³	1,251			[夜]	B 17503
運搬処分 下部掘削土	土砂	m ³	35,410			[昼]	B 17504
運搬処分	アスファルト塊	m ³	280			[昼]	B 17505
運搬処分	アスファルト塊 市道部	m ³	216			[夜]	B 17506
運搬処分	アスファルト塊 国道部	m ³	56			[夜]	B 17507

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
新船場北橋仮受工		式	1				B 19000
支持杭 アースオーガ さつ孔建込み	H-400×400×13×21	本	10			[夜]	B 19001
支持杭 大口径ホーリングマシン さつ孔建込み	H-400×400×13×21	本	10			[夜]	B 19002
橋台固定支保工		式	1			[昼]	B 19003
仮受桁工	仮受桁・桁受け材・補強材	式	1			[昼]	B 19004
導坑掘削		式	1			[昼]	B 19005
プレロード導入		式	1			[昼]	B 19006
既設PC杭撤去		本	40			[昼]	B 19007
台座コンクリート		m ³	522			[昼]	B 19008
土留板工		式	1				B 20000
縦矢板設置・撤去	板厚4.5cm	m ²	523			[昼]	B 20001
縦矢板設置・撤去	板厚4.5cm	m ²	19			[夜]	B 20002

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
横矢板設置	板厚各種	m ²	2,228			[昼]	B 20003
横矢板撤去	板厚各種	m ²	479			[昼]	B 20004
土留支保工		式	1				B 22000
支保工材設置		t	970.0			[昼]	B 22001
鋼支柱補強材及び 切梁繫材設置		t	246.9			[昼]	B 22002
裏込コンクリート 設置	鋼矢板用	m	178			[昼]	B 22003
裏込コンクリート 設置	連続壁用	m	1,214			[昼]	B 22004
裏込コンクリート 設置	土留め杭用	箇所	464			[昼]	B 22005
支保工材撤去		t	970.0			[昼]	B 22006
鋼支柱補強材及び 切梁繫材撤去		t	246.9			[昼]	B 22007
裏込コンクリート 撤去	鋼矢板用	m	178			[昼]	B 22008
裏込コンクリート 撤去	連続壁用	m	1,214			[昼]	B 22009

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
裏込コンクリート 撤去	土留め杭用	箇所	464			[昼] 無筋コンクリート塊運搬処分含む	B 22010
支保工材材料費		t	970.0				B 22011
鋼支柱補強材及び 切梁繫材材料費		t	246.9				B 22012
グラウンドアンカー工	仮設用 除去式	式	1				B 22013
グラウンドアンカー工	躯体用 除去式	式	1				B 22014
構造物内盛替工		式	1				B 22100
支保工材設置		t	328.0			[昼]	B 22101
鋼支柱補強材及び 切梁繫材設置		t	17.8			[昼]	B 22102
支保工材撤去		t	328.0			[昼]	B 22103
鋼支柱補強材及び 切梁繫材撤去		t	17.8			[昼]	B 22104
支保工材材料費		t	1,156.8				B 22105
鋼支柱補強材及び 切梁繫材材料費		t	17.8				B 22106

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
仮設備工		式	1				B 24000
坑内通路設備		式	1			作業通路、点検通路、仮設階段等	B 24001
電力設備		式	1				B 24002
用水設備		式	1				B 24003
足場工		式	1				B 24004
水替工		式	1				B 25000
釜場排水		式	1				B 25001
有孔排水管布設		式	1				B 25002
基礎工		式	1				B 28000
コンクリート打設	種別B	m3	823			[昼]	B 28001
型枠		m2	18			[昼]	B 28002
鉄筋工		式	1				B 29000

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
材料費	SD345 φ D13mm	t	358.1				B 29001
材料費	SD345 φ D16mm～φ D25mm	t	1,295.4				B 29002
材料費	SD345 φ D29mm～φ D32mm	t	307.9				B 29003
加工・組立		t	1,961.4			[昼]	B 29004
躯体コンクリート工		式	1			[昼]	B 30000
コンクリート打設	種別A1	m ³	12,340			[昼]	B 30001
型枠	頂部・側部	m ²	13,410			[昼]	B 30002
型枠支保工	くさび結合支保	空m ³	24,990			[昼]	B 30003
止水板		式	1			[昼] 伸縮目地、スリップバー、さや管、 スパイラル筋含む	B 30004
排水コンクリート工		式	1				B 33000
コンクリート打設	種別B	m ³	306			[昼]	B 33001
型枠		m ²	139			[昼]	B 33002

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
防水工		式	1				B 36000
保護コンクリート 打設	種別B	m ³	384			[昼]	B 36001
保護コンクリート 型枠		m ²	26			[昼]	B 36002
モルタル防水	底部	m ²	3,745			[昼] 打継部ラップ含む	B 36003
シート防水	頂部	m ²	3,810			[昼] 打継部ラップ含む	B 36004
シート防水	先防水 側部	m ²	4,922			[昼] 打継部ラップ含む	B 36005
シート防水	後防水 側部	m ²	348			[昼] 打継部ラップ含む	B 36006
支柱切断跡防水		箇所	192			[昼] 構造物内切断跡ペイント仕上げ 含む	B 36007
定形シール	定形シール材A	m	613			[昼]	B 36008
定形シール	定形シール材C	m	341			[昼]	B 36009
埋戻工		式	1				B 40000
改良土埋戻	側部	m ³	614			[昼]	B 40001

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
改良土埋戻	頂部	m ³	16,440			[昼]	B 40002
改良土埋戻	頂部 市道部	m ³	9,152			[夜]	B 40003
改良土埋戻	頂部 国道部	m ³	3,042			[夜]	B 40004
付帯工		式	1				B 79000
試掘		式	1				B 79001
舗板日々開閉		式	1				B 79002
防塵対策		式	1			散水、路面清掃、坑内清掃等	B 79003
直接工事費							
諸経費		式	1				B 99000
共通仮設費		〃	1			運搬費、準備費、安全費 事業損失防止施設費、役務費 営繕費、技術管理費、イメージアップ等	B 99600

(イ)工事

工 種 種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	明細番号
現場管理費		〃	1				B 99700
一般管理費		〃	1				B 99800
工事代金額							
消費税及び地方 消費税相当額							
(イ)工事計							

設 計 担 当	構造設計：鉄道延伸室 馬場 施工計画：鉄道延伸室 酒田
工 事 名 称	北大阪急行線延伸に伴う特殊街路部整備工事（第１工区）
工 事 場 所	M L 7k157m174～M L 7k773m900 箕面市 船場東三丁目 から 箕面市船場東一丁目 地内
工 期	着工期日 平成２８年 月 日 完成期限 平成３３年３月１５日
工 事 概 要	この工事は、（仮称）箕面船場駅および開削区間の線路部を建設する工事である。 （ア）工事：（仮称）箕面船場駅 （イ）工事：線路部
前 払 金	各年度出来高予定額の４０％以内（中間前払金については２０％以内）とする。部分払の請求は、原則として６ヶ月に１回とする。
適 用	本工事の施工にあたっては、本特記仕様書第１編第１章１－１適用によること。
安 全 管 理	本工事の受注者を、労働安全衛生法に基づき、第３０条第１項に規定する特定元方事業者に指名する。
請負代金額	請 負 代 金 額（税込み） _____ うち工事代金額（税抜き） _____ うち消費税及び地方消費税相当額 _____

特記仕様書

第1編 総則

第1章 一般

1-1 適用

1. 本工事の施工にあたっては、本特記仕様書によるほか、大阪府都市整備部制定（平成27年版）の「土木請負工事必携」、「土木工事共通仕様書」、「土木工事共通仕様書附則」、「土木工事施工管理基準」（以下「請負必携等」という。）、及び箕面市制定（平成27年）の「地下工事標準仕様書」によるものとする。なお、適用にあたっての詳細については、監督職員と協議すること。
請負必携等は大阪府都市整備部のホームページに掲載している。

(<http://www.pref.osaka.lg.jp/jigyokanri/giken/index.html>)

2. 土木請負工事必携および土木工事共通仕様書に記載している「特記仕様書」は、「特記仕様書および土木工事共通仕様書」と読み替えるものとする。
3. 設計図書中に「参考」と表記された項目は、あくまでも入札参加者の適正・迅速な見積に供するため、発注者が想定した設計積算の内容を参考に示した資料に過ぎず、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。このため、施工方法等工事目的物を完成させるために必要な一切の手段については、受注者がその責任において定めるものとし、工事の実施に当たってはこの趣旨を十分理解し、事故発生等を招かないよう、その防止措置に留意しなければならない。

1-2 調査、試験、点検に関する協力

受注者は、発注者及び関係機関等が実施する各種調査、試験、点検に協力しなければならない。

1-3 契約後VE(Value Engineering)

1. 「VE提案」とは、設計図書に定める工事目的物の機能、性能を低下させることなく、請負代金額の低減を可能とする設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。
2. VE提案書の提出は以下のとおり行うものとする。
 - (1) VE提案を行う場合は、監督職員の指示による様式により、作成して提出すること。なお、提出費用は受注者の負担による。
 - (2) 提案されたVE提案書に関する追加的な資料、図書等を発注者が求めた場合は提出すること。
 - (3) VE提案書は、契約締結日以後で当該VE提案に係る部分の施工着手日の35日前までに提出すること。
3. 受注者のVE提案は、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価して発注者が

審査する。

4. VE提案の採否については、次のとおりとする。

(1) VE提案の採否については、VE提案書の受領後14日以内に書面により、発注者が受注者に通知する。ただし、受注者の同意を得た場合はこの期間を延長することができる。また、VE提案が適正と認められなかった場合は、その理由を付して発注者が受注者に通知する。

(2) VE提案による設計図書の変更を行う場合は契約書第19条に基づくものとし、契約書第24条により請負代金額を変更する。また、請負代金額の変更は、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額(「VE管理費」という。)を削減しないものとする。

(3) VE提案が適正と認められた後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、VE管理費については変更しない。ただし双方の責に帰することができない事由により、工事の続行が不可能、または著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者、受注者間で協議して定める。

5. VE提案については、その後の工事において、その内容が一般的に使用されている状態になった場合は無償で利用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。

6. VE提案を適正と認めることにより、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

1-4 工事用地等

本工事の工事用地は以下に示す場所とし、必要に応じ地権者と賃貸契約を結ぶこと。

1. (仮称)箕面船場駅東側の駐車場付近

2. COM1号館用地内

1-5 工事の着手

本工事のうち国道423号本線の道路使用が伴う工事については、NEXCO西日本が新名神高速道路事業の高槻JCT～神戸JCT間を平成28年度開通を目標に取り組んでおり、開通後は国道423号の交通量の増加が見込まれるため、速やかな工事着手を検討すること。

1-6 他工事との協調

本工事区間に一部重複・接近して、北大阪急行線延伸計画に伴う特殊街路部整備工事(第2工区)及び地下埋設物移設工事等を別途発注する予定のため、施工における道路使用計画等について相互連絡調整を密にして行うこと。

また、北大阪急行電鉄(株)が別途工事を発注する予定のため、これらの工事と工程等について協議のうえ、相互連絡調整を密にして行うこと。

1-7 調査への協力

本工事の実施に伴い、労務費調査及び間接工事費等諸経費動向調査等の対象工事とする場合があるので、点検を実施する際は、受注者は必要な協力をしなければならない。調査要領等については、別途監督職員の指示によるものとする。

1-8 技術検討会

本工事の受注者は、北大阪急行線延伸技術検討会の実施にあたり必要な協力をしなければならない。

1-9 建設副産物

1. 本工事により発生する残土は、大阪湾広域臨海環境整備センター(大阪基地)に運搬するものとし、受入条件は下記のとおりとする。ただしこれにより難しい場合が生じた場合は、監督職員と協議すること。なお、夜間の残土処分は、関係法令を遵守したうえで受注者の自由処分とする。

(1) 受入場所

大阪市此花区北港緑地地先

(2) 受入条件・基準

水分を多量に含まず、木片・ゴミ等の廃棄物が混在しないものであって、発生時において陸上残土に係る基準(コーン指数 400KN/m²、含水比(発生時)40%以下、水素イオン濃度(PH)5.8以上 8.6 以下のもの)を満足するものとする。

(3) 受入時間

9:00~16:30

ただし、土・日・祝祭日、12月29日~1月4日、センターの指定する日は休業

(4) 運搬距離

受入地までの運搬距離は、22kmとする。

2. 汚泥及びアスファルト塊、コンクリート塊等の建設廃棄物は、関係法令を遵守し、産業廃棄物として各工種で処理すること。

1-10 部分使用

本工事で施工する下記の構造物は部分使用を予定している。なお、詳細な引き継ぎ時期及び内容については、監督職員と協議すること。

1. (仮称)箕面船場駅のうち、南側約 120m の軌道階及び南端立て坑部は、北大阪急行電鉄(株)が発注予定のシールド工事等にて使用するため、平成30年7月末を目途に引き継ぐこと。
2. (仮称)箕面船場駅のうち、上記以外の部分は、北大阪急行電鉄(株)が発注予定の軌道工事等にて使用するため、平成31年8月末を目途に引き継ぐこと。

3. 線路部は、北大阪急行電鉄(株)が発注予定の軌道工事等にて使用するため、平成31年8月末を目途に引き継ぐこと。

1-11 交通安全管理

1. 安全対策については、交通誘導員を計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合わせの結果により変更等が生じた場合は監督職員と協議すること。また、条件変更及び請負者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について設計図書に関して監督職員と協議すること。
2. 本工事で使用する保安施設については、「道路工事保安施設設置基準(案)」によるものとする。なお、保安施設標準様式図7-⑦の“御通行中の皆様へ”の表示内容は、以下に示す表示例を参考に記入するものとする。

[表示内容例]

この工事は、北大阪急行線の延伸工事を行っています。

3. 交通誘導警備員の配置条件については、下表のとおりとし、道路管理者及び所轄警察署の打合わせの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、監督職員と協議すること。

工 種	配置場所 (駅名は仮称)	交通誘導 警備員	編 成	交代 要員	配置期間	備考
全工種	国道 423 号 箕面船場駅	2名/日	交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	なし	平成 28 年 11 月～ 平成 33 年 2 月	昼間
全工種	国道 423 号 線路部	2名/日	交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	なし	平成 28 年 11 月～ 平成 32 年 9 月	昼間
土留め工 路面覆工等	新船場北橋	3名/日	交通誘導警備員A 交通誘導警備員B2	なし	交差点施工時	夜間
土留め工 路面覆工等	市道 船場東7号線	2名/日	交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	なし	車道部施工時	夜間

4. 工事車両の運行経路は、原則として国道 171 号及び国道 423 号等の幹線道路とし、極力工事場所付近の生活道路を通行してはならない。

1-12 官公庁への手続等

本工事区域内の国道 423 号に設置する構造物については、道路管理者等と施工方法等の詳細について施工協議を行い工事着手すること。

1-13 環境対策

本工事の施工にあたっては「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和 62 年 3 月 30 日建設省経機発第 58 号)に基づき低騒音型建設機械の使用原則を図る地域であるため、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成 9 年度建設省告示第 1536 号)に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、必要書類を提出し監督職員と協議するものとする。

詳細については、「北大阪急行線延伸整備事業にかかる環境影響評価書」(平成 27 年 7 月)によるものとし、内容を十分に把握したうえで、工事による周辺環境への影響を可能な限り抑制すること。

閲覧場所:箕面市役所別館1階 行政資料コーナー

1-14 年度工事

発注者及び受注者は、当該年度当初に、1年間の施工内容を協議して定めるものとする。

第2章 工事計画

2-1 施工計画書

1. 受注者は、国道 423 号、新船場北橋、民家等に影響をおよぼすおそれのある工種は、各施工段階における前記構造物の応力、変状等について調査検討を行う等安全を確保すること。
2. 使用する機械は、近接する前記構造物及び周辺環境等を考慮し、現場に適したものを使用すること。

2-2 施工管理計画書

巡視員の選定にあたっては、次のとおりとする。

- (1) 工事担当職員のうちから巡視員として、4名程度を選定すること。
- (2) 1名は専任の巡視主任とし現場経験10年以上または、これに準じるものとする。
- (3) 主任以外については、現場経験3年以上の者とする。

第3章 材料

3-1 躯体コンクリート等の使用区分及び規格

地下工事標準仕様書第1編第3章3-6 3. 4. を次のとおり変更する。

1. 躯体コンクリート等の種別記号及び使用区分は、原則として次のとおりとする。

使用区分	種別	セメントの種類	備考
床版、壁、桁、柱	A1	普通	
階段、ホーム	A2	普通	
基礎、排水、保護	B	普通	

(注)A1、A2については、水密コンクリートとする。

2. 躯体コンクリート等の配合の設計条件は、次のとおりとする。

種別	規格品 規格外品 の区分	呼び強度 N/mm ²	スランプ cm	空気量 %	骨材の 種類	粗骨材の最 大寸法 mm	セメント の種類
A1	規格品	30	12	4.5	普通	20	N
A2	規格品	30	15	4.5	普通	20	N
B	規格品	18	12	4.5	普通	20	N

第4章 共通

4-1 数量の算出

受注者は、工事の進捗に応じて出来形数量を算出しその結果を各年2月末日までに、各年度の出来高として監督職員に提出するものとする。また、これとは別に監督職員が指示する場合は、その期日までに監督職員に提出するものとする。

4-2 工事完成図書の納品

本工事は、大阪府情報共有システム及び完成図書の電子納品対象案件とする。

なお、情報共有及び電子納品については大阪府都市整備部のホームページに掲載している。

4-3 構造物検査

受注者は、構造物完成後に、「建造物検査実施要領」等に基づく初回検査を行い、その結果を監督職員に報告すること。なお、詳細は監督職員と協議すること。

4-4 工事記録の提出

受注者は工事記録を作成し、書面及び磁気データ化したものを発注者に提出すること。なお、書面

の部数は3部とする。

第2編 開削工事

第1章 準備工

1-1 準備工

準備工により発生する現場発生土については、工事区間内の埋め戻しに流用すること。ただしこれにより難い場合が生じた時は、監督職員と協議すること。

1-2 標識類撤去

標識類は丁寧に撤去し、移設位置に再利用すること。

第2章 布掘および壺掘工

2-1 現場発生土

布掘および壺掘工により発生する現場発生土については、大阪湾広域臨海環境整備センター（大阪基地）に運搬するものとする。

第3章 鋼杭工および鋼支柱工

3-1 現場発生土

鋼杭工および鋼支柱工により発生する現場発生土については、大阪湾広域臨海環境整備センター（大阪基地）に運搬するものとする。

3-2 シールド発進防護壁

シールド発進立て坑部の鋼杭工の芯材については、シールドマシンで切削可能な材料を設置するものとする。設置範囲は、施工参考図に示すとおりとし、詳細については監督職員と協議すること。

3-2 材料費

使用する鋼材は、新品とする。

第4章 ソイルセメント壁工

4-1 傾斜架台

施工基面に傾斜がある場合は、傾斜架台等を設置したうえで施工すること。

第5章 掘削工及び掘削土砂運搬工

5-1 掘削工

掘削の対象となる神戸層群の泥岩によるスレーキングについては、十分注意して施工すること。

また、掘削の対象となる大阪層群の海成粘土については、鋭敏比を調査し必要な対策を講じて施工すること。

5-2 掘削土砂運搬工

掘削工により発生する現場発生土については、大阪湾広域臨海環境整備センター(大阪基地)に運搬するものとする。なお、夜間の搬出先は自由処分とする。

第6章 土留支保工

6-1 グランドアンカー

グランドアンカーの施工については、「グランドアンカー設計・施工基準、同解説(地盤工学会)」によること。

第7章 躯体コンクリート工

7-1 斜路工

斜路工に使用する間詰め材料は、EPS工法に使用する発泡スチロールブロックとする。なお、詳細については監督職員と協議すること。

第8章 新船場北橋仮受工

8-1 既設PC杭撤去

既設PC杭の撤去は、ワイヤーソーイング工法による切断とする。なお、橋台下の切断位置は、橋台下面から10cm程度とすること。

8-2 台座コンクリート

橋台下10cmの台座コンクリートは、無収縮モルタルにて充填すること。

第9章 付帯工

9-1 試掘

試掘により発生する現場発生土については、工事区間内の埋め戻しに流用すること。ただしこれにより難しい場合が生じた時は、監督職員と協議すること。

第10章 その他

10-1 道路使用

道路使用時間帯は原則として、次のとおりとする。

1. 昼夜間

(1) 国道 423 号の道路使用

国道 423 号側線：南行き1車線が確保できる場合

国道 423 号本線：北行き1車線、南行き2車線が確保できる場合

ただし、本線の道路使用は駅立て坑部、新船場北橋部の土留め拡幅範囲の施工時に限る。

2. 夜間

(1) 新船場北橋交差点の道路使用(23時～6時)

国道 423 号側線：南行き1車線が確保できる場合

市道船場中央線：交互通行で東西1車線が確保できる場合

(2) 市道船場東7号の道路使用(21時～6時)

市道船場東7号：通行止め(新船場北橋交差点付近～COM1 号館南側付近)

土木工事取扱要綱(地下編)

第2章 算定基準の一部変更(追加)

14. 土留支保工

(6) グランドアンカーを下記のとおり追加する。

数量は、施工計画書に基づき設置した本数を合計する。

35. 新船場北橋仮受工

(1) 支持杭を下記のとおり追加する。

数量は、施工計画書に基づき設置した本数を合計する。

(2) 既設PC杭撤去を下記のとおり追加する。

数量は、施工計画書に基づき撤去した本数を合計する。

(3) 台座コンクリートを下記のとおり追加する。

数量は、構造図に示す体積とする。